

Android 版 Cisco Jabber 12.7 リリース ノート

初版 : 2019 年 9 月 9 日

最終更新 : 2019 年 10 月 15 日

リリースの新機能 12.7(2)

Android 10 のサポート

Android 10 のサポートが追加されました。

解決済みの不具合 (p.11)

このリリースでは、いくつかの既知の問題が修正されています。このリリースで修正された警告のリストについては、「リリース 12.7(2) の解決済みの警告」の項を参照してください。

リリースの新機能 12.7(1)

Google のアップグレード ポリシーの技術的要件を満たすために、このメンテナンス リリースを作成しました。ビルド番号は 12.7.1.300418 です。

このリリースでは、リリース 12.7 (0) で提供された機能または警告に変更はありません。

リリースの新機能 12.7

ユーザエクスペリエンスの向上

64 ビット Android のサポート [64ビットのサポート]

Android 版 Cisco Jabber は、32 ビット アプリと 64 ビット アプリケーションとして使用できます。Android デバイスに 64 ビット OS が搭載されている場合は、64 ビット Jabber クライアントを実行することで、より高速で豊富な操作性が得られます。Google Play Store から Jabber をインストールまたは更新すると、デバイスに最適なバージョンが自動的に取得されます。

ビデオ通話の開始

管理者は、携帯ネットワークを介した Jabber コールが新しい StartCallsWithVideoOverCellular パラメータを使用してビデオで始まるかどうかのデフォルト値を制御できます。False (デフォルト) に設定すると、携帯ネットワーク経由のコールはビデオなしで開始されます。[True] に

設定すると、コールはビデオで開始されます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

ユーザは、携帯電話ネットワーク上の **[設定 (Settings)] > [コールオプション (Call options)] > コール機能** でこの設定を変更できます。

アプリケーション評価動作

Jabber によってラップされた apk ファイルをインストールすると、ユーザは Jabber にコールを発信した後にアプリケーションのレートを要求する通知を受け取りません。

シングルナンバー リーチ設定

これで、シングルナンバー リーチのセットアップが容易になります。これにより、異なるデバイスに発信されたコールが1つの番号ですべてに到達できるようになります。シングルナンバー リーチ オプションは、**[設定 (Settings)]** で直接確認できます。

Chromebook 通知のサポート

Webex Messenger または Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service を搭載した Android 12.7 の Jabber は、Chromebook での着信チャット通知をサポートするようになりました。**[IM 通知 (IM notification)]** ウィンドウは、**[Chromebook]** 画面の右下隅に表示され、そこにいくつかのデフォルトの返信ボタンがタップできます。**[返信 (Reply)]** をタップして、送信者とチャット ウィンドウを開くこともできます。

現代の入力ボックスのスタイル

モバイルデバイスでメッセージを送信する方法が改善されました。ファイル、ビデオ、または写真を追加するためのオプションは、顔文字の横にある画面の下部に移動しました。

最新のナビゲーション

ナビゲーション オプションが画面の下部に移動しました。

PRT ログをローカルに保存する

ユーザが自分の携帯電話から電子メールを送信することを許可していない場合は、PRT ログをキャプチャする方法が必要になります。ユーザが `EnableSaveLogsToLocal` を使用してローカルにログを保存できるようにすることができます。このパラメータデフォルトで、ユーザがローカルストレージに PRT ログを保存できるようにします。

Jabber チームメッセージング モード

Cisco Webex Control Hub を介してクライアントを構成する

Jabber Team メッセージング モードは、Cisco Unified Communications Manager とその呼び出し機能を必要としない IM 専用モードで実行できます。Jabber 設定ファイルの展開サイトとして Unified CM を置き換えるために、Jabber 設定ファイルをコントロールハブにアップロードできます。組織ごとに1つの構成ファイルをアップロードできます。

サービスに移動してから、メッセージカードを選択して **設定** を選んでください。アップロード設定ファイルを選択します。このファイルは .xml 形式である必要があります。

コントロールハブと Unified CM の両方に Jabber 設定ファイルがある場合、Unified CM のパラメータの値が優先されます。

People Insights

People Insightsは、Jabber Team Message Mode ユーザーに連絡先の専門的プロファイルを提供します。連絡先カードが表示される場所であればどこでも、連絡先リスト、会話、通話履歴、Voice Mail 履歴からユーザーは People Insights にアクセスできます。

この機能は、プロファイルで公開されている情報と、同じ会社のユーザーに対する社内ディレクトリ情報のみを表示します。この内部ディレクトリ情報は、社外のユーザーには表示されません。ユーザーは自分のプロファイルを編集して、データを追加できます。詳細については、[People Insights とは](#) を参照してください。

People Insightsを有効にするには、コントロールハブに移動し、**[設定] > [ディレクトリ同期] および [People Insights]**を選択して、**[People Insightsの表示]** トグルをオンにします。

サイレント 設定

[サイレント]設定の間隔を 30 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、24 時間に変更しました。

メッセージ サービス ステータス:

[設定 (Settings >)] [メッセージング (messaging)] メニューから、メッセージング サービスへの接続を確認できます。Webex プラットフォームの一部のメッセージング サービスが機能していない場合、サービスに影響を与えるラベルが表示されます。

コンテンツ管理設定(ECM)サポート

ECM ファイルを表示、送信 および受信できます。OneDrive または SharePoint Online から ECM ファイルをアップロードし、それらを表示する権限がある他の Jabber ユーザーにチャットで送信します。ユーザーは添付ファイルを送信するときに、コンピューターまたは ECM アカウントからファイルをアップロードすることを選択できます。ユーザーは、組織内の他のユーザー、またはファイルにアクセスできる特定のユーザーにファイルを送信することを選択できます。受信者が ECM 添付ファイル付きのメッセージを取得したら、ファイルを表示または開く前に、その ECM サービスにログインする必要があります。

詳細については、<https://help.webex.com/en-us/nfia8at/>

[Configure-Enterprise-Content-Management-Settings-in-Cisco-Webex-Control-Hub](#) および

<https://help.webex.com/en-us/nuvy9lb/Enterprise-Content-Management-in-Cisco-Webex-Control-Hub> を参照してください。

引用メッセージ

同じスペースで別のメッセージを引用することにより、メッセージにコンテキストを追加できます。メッセージを引用するには、引用するメッセージをタッチして保持し、表示されるリス

トから [引用メッセージ (quote message)] を選択します。メッセージを送信すると、引用されたメッセージがスペース内のメッセージの上に表示されます。

BOT サポート

BOTが検索結果に表示されるようになりました。BOTをスペースや既存の会話に追加し、BOTで新しいコンバージョンを作成できます。BOTを見つけるには、検索バーに移動し、名前の最初の数文字を入力します。BOTは、連絡先とディレクトリの結果の下に、独自のカテゴリで表示されます。

Jabber Team Messaging Mode ユーザーは、Webex Platform Serviceの一部として展開されているBOTを検索して使用できます。これらのBOTは [Cisco Webex App Hub](#) で見つけるか、ユーザー用に **独自のBOTを開発** できます。Cisco Jabber BOT SDKからのBOTは、オンプレミスおよびWebex Messenger 展開でのみ機能します。

スペースの詳細

チームメッセージングモードのユーザのスペースでは、情報アイコンがドロップダウン矢印に置き換えられました。展開すると、スペースのオプションが表示されます。たとえば、参加者の追加、お気に入りへのスペースの追加、通知のミュート、スペースに関するその他の詳細などがあります。

会議

コラボレーション ミーティンググループ コントロールの更新

Jabber モバイルクライアント上のユーザは、以前はデスクトップユーザのみが使用可能だった複数の会議室制御を使用できるようになりました。

ホストは、別の参加者をホストにすることができます。新しいホストは、参加者リストの一番上に移動されます。また、すべてのユーザをミュート、またはミュート解除することもできます。会議の録画を一時停止して再開します。

ホストは、別の参加者をホストにした後、会議を終了するか、そのままにするかを選択できます。

会議への自動ログイン

Cisco Unified Communications Manager と Webex 会議で同じ IDP を使用して SSO が有効になっている場合、Jabber は自動的に接続されます。

発信

コール ピックアップ (Call Pickup)

ユーザは、モバイルデバイスでコールピックアップを使用できるようになりました。グループコールピックアップ機能を使用すると、ユーザは別のグループ内の着信コールをピックアップできます。サーバ側で応答グループを設定します。この機能は、次の既存のパラメータ (Enablecallpickup (default: false)、 Enableothergrouppickup (default: False)およびenableothergrouppickup

(default: false)) を使用して Jabber で設定します。コール ピックアップの働きについては、[『Feature Configuration Guide for Cisco Jabber』](#) を参照してください。

セキュリティ

更新されたサインアウト動作

ユーザーが Jabber からサインアウトする場合、次にサインインするときに再認証する必要があります。

次の場合、ユーザーは再認証する必要はありません。

- 構成を変更するには、サインアウトする必要があります。
- Jabber アプリを強制終了し、再起動します。（デスクトップユーザーの場合、これには **[Jabber の終了]** を選択した場合も含まれます。）
- タッチ、指紋、または顔 ID が有効なモバイル Jabber ユーザー。

更新トークンの OAuth 処理

展開で OAuth を有効にしている場合、Jabber はデフォルトで、ユーザーがサインインするときに期限切れの更新トークンをチェックします。更新トークンの有効期限が切れた場合、ユーザーは再認証する必要があります。ユーザーがサインインしている間に更新トークンの有効期限が切れると、Jabber はセッションが期限切れになったというメッセージでログアウトします。

LegacyOAuthLogout パラメーターは、この動作を制御します。期限切れのリフレッシュトークンに対する **false** チェックのデフォルト値。値を **true** に設定すると、Jabber は期限切れの更新トークンをチェックしません。詳細については、[Cisco Jabber のパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

Samsung Knox Support

Samsung Knox は、Samsung デバイ스에組み込まれた非常に安全なプラットフォームで構成されており、このプラットフォームを活用する一連のソリューションを提供します。Knox の詳細については、www.samsungknox.com を参照してください。

カスタマイズされた認証局のサポート

リリース 12.7 以降では、Android デバイスでカスタマイズされた認証局 (CA) を使用できます。

要件

Cisco Jabber 要件

多くの Cisco Jabber 要件は複数のクライアント タイプ間で共通です。クライアント固有の要件はリリース ノートに文書化されていて、他のすべての要件は *Cisco Jabber* 用プランニングガイドに文書化されています。

Android 版 Cisco Jabber のオペレーティング システム

サポートされている最新のオペレーティングシステムバージョン情報については、Play Store を参照してください。



(注) Android 版 Cisco Jabber は、32 ビットアプリと 64 ビットアプリケーションとして使用できます。Android デバイスに 64 ビット OS が搭載されている場合は、64 ビット Jabber クライアントを実行することで、より高速で豊富な操作性が得られます。

32 ビット OS に 64 ビットアプリケーションをインストールすることはできません。ほとんどの 64 ビットプラットフォームで 32 ビットアプリケーションを使用すると、64 ビットアプリケーションにアップグレードするための通知が表示されます。



(注) Cisco Jabber が Android 6.0 Marshmallow OS 以降にインストールされており、アイドルが続いている場合：

- Cisco Jabber のネットワーク接続が無効になっています。
- ユーザは、コールまたはメッセージを受信しません。

[設定の変更 (Change Settings)] をタップしてバッテリーの最適化を無視し、コールおよびメッセージを受信するようにします。

Android 版 Cisco Jabber のハードウェア要件

Android デバイスの最小要件

Android オペレーティングシステム	CPU	ディスプレイ
5.0 以降	1.5 GHz デュアルコア 推奨: 1.2 GHz の quad core 以上	双方向ビデオ: 480p x 800p 以上。 IM のみ: 320p x 480p 以上。

Android 版 Cisco Jabber は、次の表に記載されているオペレーティングシステムのバージョンごとに以下のデバイスでフル UC モードをサポートしています。

表 1: サポートされるデバイス

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
BlackBerry	Priv	5.1	BlackBerry Priv デバイスの制限 : Jabber が最近表示したアプリケーションリストから削除され、デバイスがしばらくアイドル状態になると、Jabber は非アクティブになります。
Fujitsu	Arrows M357	6.0.1	

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Google Nexus	4	5.1.1	
	5	5.0	
	5X	6.0	
	6	5.0.2	
	6P	6.0	Android OS バージョン 6.x または 7.0 を搭載した Google Nexus 6P デバイスを所有している場合は、管理者に連絡して、Jabber 電話サービスをセキュア電話サービスとして設定する必要があります。設定しないと、デバイスが応答しない可能性があります。ただし、Android OS のバージョンが 7.1 以降の場合は、アクションは不要です。
	7	5.0	
	9	5.0.2	
	10	5.0	
	Pixel	7.0	
	Pixel C	6.0	
	Pixel XL	7.0	
	Pixel 2	8.0	Jabber 通話中に、ユーザが音声をモバイルデバイスからヘッドセットに切り替えると、数秒間音声に問題が生じる場合があります。
	Pixel 2 XL	8.0	Jabber 通話中に、ユーザが音声をモバイルデバイスからヘッドセットに切り替えると、数秒間音声に問題が生じる場合があります。
	Pixel 3	8.0	Jabber 通話中に、ユーザが音声をモバイルデバイスからヘッドセットに切り替えると、数秒間音声に問題が生じる場合があります。
	Pixel 3 XL	8.0	Jabber 通話中に、ユーザが音声をモバイルデバイスからヘッドセットに切り替えると、数秒間音声に問題が生じる場合があります。

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Honeywell Dolphin	CT40	7.1.1	
	CT50	5.0	
	CT60	7.1.1	OS 7.1.1 でのみサポートされる
HTC	10	6.0	
	A9	6.0	
	E9 PLUS	5.0.2	
	M7	5.0	
	M8	5.0	
	M9	5.0	
	One Max	5.0	
	X9	6.0	

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Huawei	Honor 7	5.0	
	M2	5.0	
	Mate 7	5.0	
	Mate 8	6.0	
	Mate 9	6.0	
	Nova	7.0	
	Mate 10	8.0	
	Mate 10 Pro	8.0	
	P8	5.0	
	P9	6.0	
	P10	7.0	
	P10 Plus	7.0	
	P20	8.0	
	P20 Pro	8.0	
	Mate20	8.0	
	Mate20 Pro	8.0	
	P30	9.0	
	P30 Pro	9.0	
LG	G2	5.0	
	G3	5.0	
	G4	5.1	
	G5	6.0	
	G6	7.0	
	V10	5.0	
	V30	8.0	

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Motorola	MC40	5.0	Cisco Jabber は、MC40 デバイスの音声モードのみサポートします。Cisco Jabber は、MC40 デバイスからの Webex Meetings の起動をサポートしません。
	Moto G	5.0	
	Moto X	5.0	
	Moto Z Droid	6.0	
Nokia	Nokia 6.1	8.0	
OnePlus	One	5.0	
	5	8.0	
	5T	8.0	
	6	9.0	
	6T	9.0	
パナソニック	Toughpad FZ-X1	5.0	Jabber 電話サービスをセキュア電話サービスとして設定するように管理者に連絡する必要があります。Jabber は、ringback トーンと 24 Khz の通話中トーンを再生します。

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Samsung	すべて	5.0	<ul style="list-style-type: none"> Android OS 5.x 以降を搭載した Samsung デバイスの場合、Jabber の auto-run オプションを有効にする必要があります。 <p>Android OS 5.x の場合、auto-run オプションは [設定 (Settings)] と [デバイス マネージャ (Device Manager)] の下にあります。</p> <p>Android OS 6.x 以降の場合、auto-run オプションは [アプリケーションスマート マネージャ (App Smart Manager)] の下にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> カナダ向けの Samsung Galaxy Tab Pro 8.4 (モデル T320UEU1AOC1) では、Jabber の着信コール通知のポップアップ表示が遅れます。 Samsung Xcover 3 では、Wi-Fi 接続を失った場合に、Jabber のネットワークへの再接続が遅れます。
Smartisan	M1L	6.0.1	
Sonim	XP8	7.1.1	

デバイス	デバイス モデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Sony Xperia	M2	5.0	
	XZ	7.0	
	XZ1	8.0	
	XZ2	8.0	
	XZ3	9.0	
	Z1	5.0	
	Z2	5.0	
	Z2 tablet	5.0	
	Z3	5.0	Android OS 5.0.2 を搭載した Sony Xperia Z3 (モデル SO-01G) の Jabber コールの音声品質は低いです。
	Z3 Tablet Compact	5.0	
	Z3+/Z4	5.0.2	ビデオ コールは Sony Z3+/Z4 には適していません。ビデオ コールのセルフ ビデオを無効にするか、ボイス コールのみを行うことができます。
	Z4 TAB	5.0	
	Z5 Premium と Z5	5.0.2	
ZR/A	5.0	Android OS 6.0 の Sony デバイスは Jabber で Voice Mail を再生できないという制限があります。	

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Xiaomi	4C	5.1	
	MAX	5.1	
	Mi 4	5.0	
	Mi 5	6.0	
	Mi 5s	7.0	
	Mi 6	7.0	
	Mi 8	8.0	
	Mi 9	9.0	
	Pocophone	8.0	
	Mi Note	5.0	
	Mi Note 2	7.0	
	Mi Pad 2	5.1	
	Mi MIX 2	8.0	
	Mi A1	8.0	
	Redmi 3	5.1	
	Redmi Note 3	5.1	
	Redmi Note 4X	6.0.1	
Redmi Note 5	8.0		

デバイス	デバイスモデル	Android オペレーティングシステムの最小バージョン	注
Zebra	TC51	6.0	
	TC70	5.0	TC70 デバイスには、DHCP で構成されている Wi-Fi ネットワークへの接続の問題が発生することがあります。 TC70 では、[スリープ中も Wi-Fi をオンのままにする (Keep wifi on during sleep)] が [オフ (Off)] に設定されているため、Jabber を使用するためには、[常にオン (Always On)] に設定する必要があります。
	TC75X	6.0	

Jabber による Samsung Knox バージョン 2.6 のサポート

Android 版 Cisco Jabber は次のデバイスで Samsung Knox をサポートしています。

Knox バージョン	Samsung Galaxy デバイス モデル
2.6	Note 10.1 (2014 年版) Note 4 Note 5 Note Edge S5 S6 S6 Edge S6 Edge Plus S7 S7 Edge Tab S 8.4 と 10.5
2.7.1	Galaxy Note5
3.1	Galaxy A5 (2017)
3.2	Galaxy On5 (2016)
3.3	Galaxy S10

Jabber は Samsung Dex に対応済み

Android 版 Cisco Jabber は、Samsung S8、S8 Plus および Note 8 で Samsung Dex をサポートしています。

Cisco Jabber の以前の Android バージョンのサポート ポリシー

Android カーネルの問題により、一部の Android デバイスでは Cisco Jabber を Cisco Unified Communications Manager に登録できません。この問題を解決するには、次の手順を試してください。

Android カーネルをバージョン 3.10 以降にアップグレードします。

- Cisco Unified Communications Manager の設定で、混合モードのセキュリティの使用、セキュア SIP コール シグナリングの有効化、ポート 5061 の使用を設定します。ご使用のリリースで Cisco CTL クライアントを利用して混合モードを設定する方法については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。セキュリティガイドは、Cisco Unified Communications Manager の『[Maintain and Operate Guides](#)』に記載されています。このソリューションは、次のサポート対象デバイスに適用できます。

デバイス モデル	オペレーティング システム
HTC M7	Android OS 5.0 以降
HTC M8	Android OS 5.0 以降
HTC M9	Android OS 5.0 以降
HTC One Max	Android OS 5.0 以降
Sony Xperia M2	Android OS 5.0 以降と 3.10.49 より前のカーネルバージョン Sony 製デバイスの Android OS が 5.0.2 以降であり、カーネルバージョンが 3.10.49 以降であれば、非セキュア モードをサポートできます。
Sony Xperia Z1	
Sony Xperia ZR/A	
Sony Xperia Z2	
Sony Xperia Z2 Tablet	
Sony Xperia Z3	
Sony Xperia Z3 Tablet Compact	
Xiaomi Mi4	(Android OS 5.0 以降)
Xiaomi Mi Note	(Android OS 5.0 以降)
Xiaomi Mi Pad	(Android OS 5.0 以降)
Sonim XP7	(Android OS 5.0)
Honeywell Dolphin CT50	Android OS 5.0 以降

サポートされている Bluetooth デバイス

Bluetooth デバイス	依存関係
Cisco 562	
Cisco 561	
Plantronics Voyager Legend	
Plantronics Voyager Legend UC	
Plantronics Voyager Edge UC	
Plantronics Voyager Edge	
Plantronics PLT Focus	
Plantronics BackBeat 903+	Samsung Galaxy S4 を使用している場合は、これらのデバイス間の互換性に起因する問題が発生する可能性があります。
Jabra Motion	Jabra Motion Bluetooth ヘッドセットをファームウェアバージョン 3.72 以降にアップグレードします。 Jabra Motion Bluetooth ヘッドセット ファームウェアバージョン 3.72 以降は、Cisco Jabber のコール制御をサポートします。
Jabra Wave+	
Jabra BIZ 2400	
Jabra Easygo	
Jabra PRO 9470	
Jabra Speak 510	
Jabra Supreme UC	
Jabra Stealth	
Jabra Evolve 65 UC Stereo	
Jawbone ICON (Cisco Bluetooth ヘッドセット用)	Samsung Galaxy S4 を使用している場合は、これらのデバイス間の互換性に起因する問題が発生する可能性があります。

Bluetooth の制限 :

- Samsung Galaxy SIII で Bluetooth デバイスを使用すると、呼出音と通話の音声にヒズミが生じる可能性があります。

- Jabber 通話中に Bluetooth ヘッドセットの接続を切り、再接続すると、音声聞こえなくなります。Android 5.0 より前の OS を搭載した Android スマートフォンにこの制限が適用されます。
- Android OS 6.0 を搭載した Sony Z4 / LG G4 デバイスでは、Cisco Jabber 通話中に Bluetooth ヘッドセットに接続すると音声聞こえなくなることがあります。この問題の回避策は、オーディオ出力デバイスを一旦スピーカーにし、その後 Bluetooth に切り替えることです。または Cisco Jabber 通話を発信する前に Bluetooth ヘッドセットに接続します。

サポートされる Android Wear

デバイスがモバイル デバイスによってペアリングされたときに、ユーザは Play store からインストールできるようになりました。

Cisco Jabber は、Android OS 5.0 以降および Google Play Service 8.3 以降が搭載されているすべての Android Wear デバイスでサポートされています。Cisco Jabber は、次の Android Wear デバイスでテストされています。

- Fossil Gen 3 SmartWatch
- Huawei watch
- LG G Watch R
- LG Watch Urbane
- Moto 360
- Moto 360 (第 2 世代)
- Samsung Gear live
- Sony SmartWatch 3

サポートされている Chromebook モデル

Chromebook に Chrome OS v53 以降が搭載されている必要があります。Android 版 Cisco Jabber は、Google Play ストアからダウンロードすることができます。

- HP Chromebook 13 G1 ノートブック PC
- Google Chromebook Pixel
- Google Pixelbook
- Samsung Chromebook Pro
- Asus C302

Android で IPv6 をサポートするための要件

Android OS の要件

Android 5.0 以降

ネットワークの要件

- IPv4 専用モード (Android は IPv4 アドレスのみ承認する)
- SLAAC でのデュアルスタック (Android は IPv4 および IPv6 アドレスを承認する)
- NAT64 または DNS64 (サーバは IPv4 アドレスを使用し、クライアントは IPv6 アドレスを使用する)

制限事項

- DHCPv6 の制限事項
 - DHCPv6 は Android デバイスでサポートされません。
- Android OS の制限事項
 - Android OS は IPv6 専用ネットワークをサポートしません。この制限事項の詳細については、「[Android developer link](#)」を参照してください。

制限事項

制限事項

次の制限は、すべてのデバイスに適用されます。

- リリース 12.7 では、Android 版 Cisco Jabber は、OS を使用した自動起動をサポートしていません。
- Android 版 Jabber は、他のアプリがカメラを使用している場合は、Chromebook からビデオ通話を開始できません。
- Cisco Unity Connection の制限のため、Voice Mail サーバは不在着信の URI を表示できません。この問題は、URI からかけられた Cisco Jabber 着信通話を拒否し、発信者がその通話を Voice Mail に回したときに発生します。発信者の連絡先情報に URI しか含まれない場合、Voice Mail サーバに発信者不明と表示されます。連絡先情報に URI と電話番号が含まれている場合、Voice Mail サーバにその連絡先の番号が表示されます。
- バックグラウンドでサードパーティ製アプリケーションによる音楽再生をしているときに Android 版 Cisco Jabber ビデオ通話を発信あるいは着信しても、音楽が一時停止したりビデオ通話終了後に再開したりすることはありません。この問題を回避するには、サードパーティのアプリを開いて、音楽を一時停止または再開します。
- 2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して Android 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。
- 同じデバイス上で、Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアントとセーフネットの MobilePASS ワンタイムパスワード、そして Android 版 Cisco Jabber を使用すると、これらのアプリケーション間の互換性に起因する問題が発生する恐れがあります。たとえ

ば、Android 版 Cisco Jabber 通信中に音声も片通話も聞こえない、あるいは、転送した場合には遅延が発生する、という可能性もあります。

- 共通アイデンティティ サーバに移行したユーザの場合、Cisco Jabber の署名で問題が発生することがあります。これらのユーザがユーザ名とパスワードを入力する時に、「不正なユーザ名またはパスワード」という旨のエラーメッセージが表示されます。この問題を解決するには、この [トラブルシューティング項目](#) を参照してください。
- 通知は Jabber チームメッセージモードの Android ウェアラブル デバイス ではサポートされていません。
- エンタープライズ グループの連絡先解決 - Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカルキャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。
- Cisco Unified Communications Manager 11.0 - ユーザーの作成と構成のデバイス-RSA のみ、EC のみ、EC を優先すると、バックアップまたは RSA キーの順序を指定できます今 Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのためのデバイスを作成する場合。Cisco Jabber による EC のみオプションが現在サポートされなくて、それを選択するとクライアントがサーバーへの接続に失敗した場合があります。
- SSO 非対応のモバイルおよびRemote Access環境で、Jabber が Cisco VCS Expressway サーバへの接続を失ってから次の接続リクエストを送信するまでの間隔は 120 秒です。これにより、複数のクライアントから、サーバへ複数のリクエストが送信されるのを防いでいます。この 120 秒間はネットワーク接続がアクティブであったとしても、Jabber は非アクティブの状態となります。
- 7580 Exynos チップセットを搭載したサムスンのデバイスでは、音声品質の問題が発生します。デバイス画面がオフになると、音声不明瞭になります。該当するデバイスリストを示します。
 - Samsung Galaxy A3 2016
 - Samsung Galaxy A5 2016
 - Samsung Galaxy A7 2016
 - Samsung Galaxy S5 Neo
 - Samsung Galaxy J7
 - Samsung Galaxy View
- サムスンのデバイスで初めて Jabber をインストールすると、Jabber は監視対象外のアプリの一覧に入り、バックグラウンドで起動している間はスリープにならなくなります。しかし、Samsung OS をモニターされていないアプリリストのあるバージョンからアップグレードする場合は、Jabber をモニターされていないアプリリストに手動で追加する必要があります。

- バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0* の機能構成ガイドのシングルナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。
- ユーザが SSO モードでの Cisco Jabber へのサインインに問題がある場合、ユーザは Android System WebView と Chrome ブラウザ をアップグレードして問題を解決する必要があります。ユーザは、Google Play Store から Android System WebView および Chrome ブラウザ をアップグレードできます。

制約事項

次の制約は、すべてのデバイスに適用されます。

- HTTP の標準 SAML での SSO 認証 - **[Reset Jabber]** オプションを使用してユーザの切り替えを行うと、サインインに失敗します。Cisco Jabber をリセットし、Android OS のアプリケーションを完全に停止してからやり直してください。
- URI ダイアルをサポートするサードパーティ製アプリケーションの数が多いため、すべてのサードパーティ製アプリケーションでこの機能の相互運用性を保証することはできません。サードパーティ製アプリケーションには、tel:// リンクをクリックし Android 版 Cisco Jabber を選択して発信できる機能を持つものがあります。
- ファイルを転送するとき、ファイル名は、168 文字 (拡張子を含む) を超えることはできません。それより長い名前のファイルを送信しようとすると、168 文字を超えたことが通知されます。
- Security Survivable Remote Site Telephony (SRST) は、Android 版 Cisco Jabber リリース 10.6 ではサポートされていません。
- Cisco Unified Communications Manager のバージョンが 11.0 以降であり、かつ、HTTPS 接続のいくつかで無効な証明書である旨が表示されても 10 秒以内に同意しない場合、お使いのアプリケーションの機能が影響を受けることがあります。例えば、サーバから構成の一部をダウンロードできない、電話サービスや Voice Mail のサーバに接続できない、といった問題が発生する恐れがあります。
- Android Webview がリセット、アップグレード、再起動をするとき、SSO アカウントのユーザの場合のみ、Jabber は動作を停止します。
- ファイル転送中は、JPEG ファイル形式のファイルのみが圧縮されます。
- Cisco Webex ミーティング：ミーティングの siteType が「ORION」の場合、Android 版 Cisco Jabber は Expressway for Mobile and Remote Access ネットワーク経由で Webex ミーティングを開始できません。
- 起動時の自動認証はサポートされなくなりました。
- コールのドロップを回避するために、携帯電話ネットワークでコールに応答すると、Jabber が Wi-Fi をオフにします。

不具合

警告では予期しない動作について説明します。次の各項では、最新情報の取得方法について説明します。

バグの重大度レベル

既知の障害またはバグには、障害のプライオリティを示す重大度レベルが設定されています。これらのリリースノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重要な重大度レベル 3 のバグ。
- シビラティ 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重大度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。 ドキュメンテーション バグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

手順

- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。

ステップ 2 自分の Cisco .com のユーザ ID とパスワードでサインインします。

ステップ 3 特定の問題の情報を検索するには、**[検索 (Search for)]** フィールドにバグ ID 番号を入力して **[入力 (Enter)]** を押します。または、製品およびリリースで検索できます。

リリース 12.7(2) で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvr62048	2	Jabber 12.7 の場合、ユーザは CUCM クラスタの移行後にログインできない

リリース 12.7 で未解決の問題

ID	重大度	見出し
CSCvq36013	2	Android 版 Jabber がバックグラウンドで着信コールを失う
CSCvr12533	3	Android 版 Jabber は、MRA を介したフェールオーバーシナリオのアクセス トークンを更新しない

リリース 12.7 で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvp45073	3	時間内に転送されない DTMF の番号 (50 ミリ秒以内)
CSCvq17036	3	Sqlite3.exe rtreenode () 関数ヒープの境界外読み取りの脆弱性
CSCvq92136	3	MRA を介した 911 通知の Android 用 Jabber
CSCvr05064	3	DNS/プロキシの動作が変更されると、ユーザが windows との 12.6 同期でログインに失敗する
CSCvr05071	3	Jabber にはハントパイロット情報が表示されない
CSCvm79502	6	証明書がプライベート CA を使用して署名されている場合の Android 版 Jabber の証明書の警告

